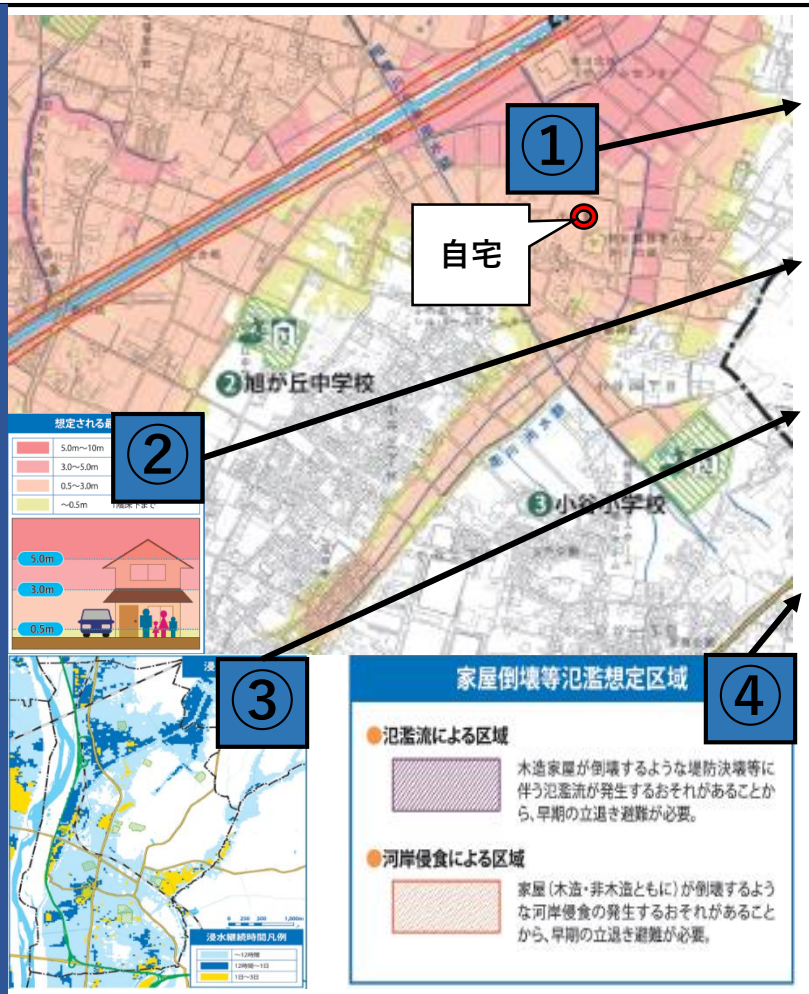
洪水ハザードマップ
マイ・タイムライン
利活用の流れ

洪水ハザードマップ／マイ・タイムライン利活用の流れ（１／４）

STEP 1：地図面を確認し、自宅の位置が浸水想定区域に含まれているのかどうか、また、浸水継続時間等を確認しましょう。

STEP 1



【STEP 1　浸水想定等記入】

①洪水ハザードマップ（地図面）を参考に、自宅の場所を確認し、地図に記載しましょう。

②自宅の場所が浸水のおそれがある区域かどうか確認し、浸水深を記載しましょう。

③自宅の浸水継続時間を確認し、浸水継続時間を記載しましょう。

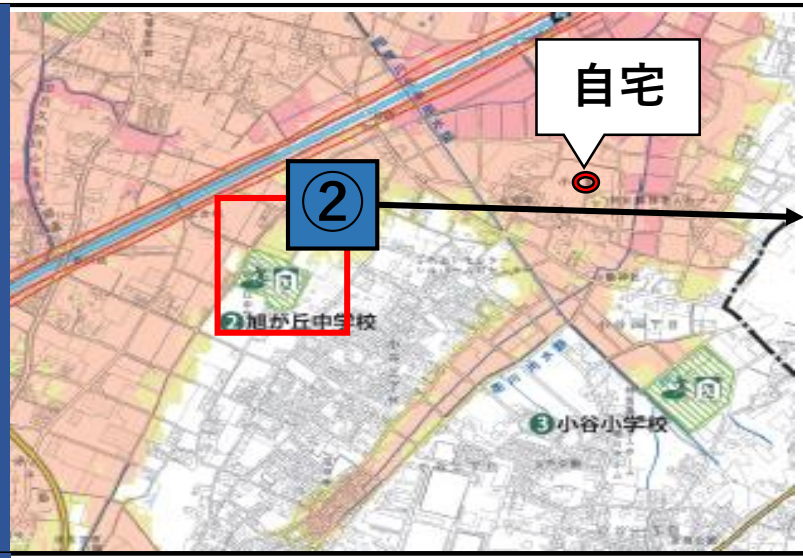
④凡例を基に、自宅の場所が家屋倒壊等氾濫想定区域かどうか確認し、該当箇所にチェックを入れましょう。

浸水深	0.5～3.0 m
浸水継続時間	～12時間
家屋倒壊等氾濫想定区域にある	□「河岸浸食」の区域内にある □「氾濫流」の区域内にある ☑区域からはずれている

洪水ハザードマップ／マイ・タイムライン利活用の流れ（２／４）

STEP 2：地図面を活用し、お近くの広域避難場所等を確認しましょう。
STEP 3：家族構成等を記入しましょう。また、避難する際、避難所へ持って行く必要があるもの等を確認しましょう。

STEP 2



【STEP 2　広域避難場所記入】

①近場に親戚や知人宅等、安全が確保できる場所があれば確認しましょう。

②近場の広域避難場所を確認しましょう。

避難できる場所にチェックを記入	避難する場所の名前	家族が避難できる所要時間	避難経路上の危険な場所
■浸水域外の避難所	＊＊＊＊＊	＊＊分	＊＊＊＊＊
■親戚・知人宅	＊＊＊＊＊	＊＊分	＊＊＊＊＊
□近くの頑丈な建物	―	―	―

⋮

STEP 3

・家族構成等を記入しましょう。

名前 ①	連絡先 ②	日中の居場所 ③	必需品 ④	避難が困難な状況があれば記入して下さい ⑤

【STEP 3　家族構成等記記入】

【記載要領】

①家族の名前を記入ください。

②日中に繋がる連絡先を記入ください。

③日中に滞在していると思われる場所を記入ください。

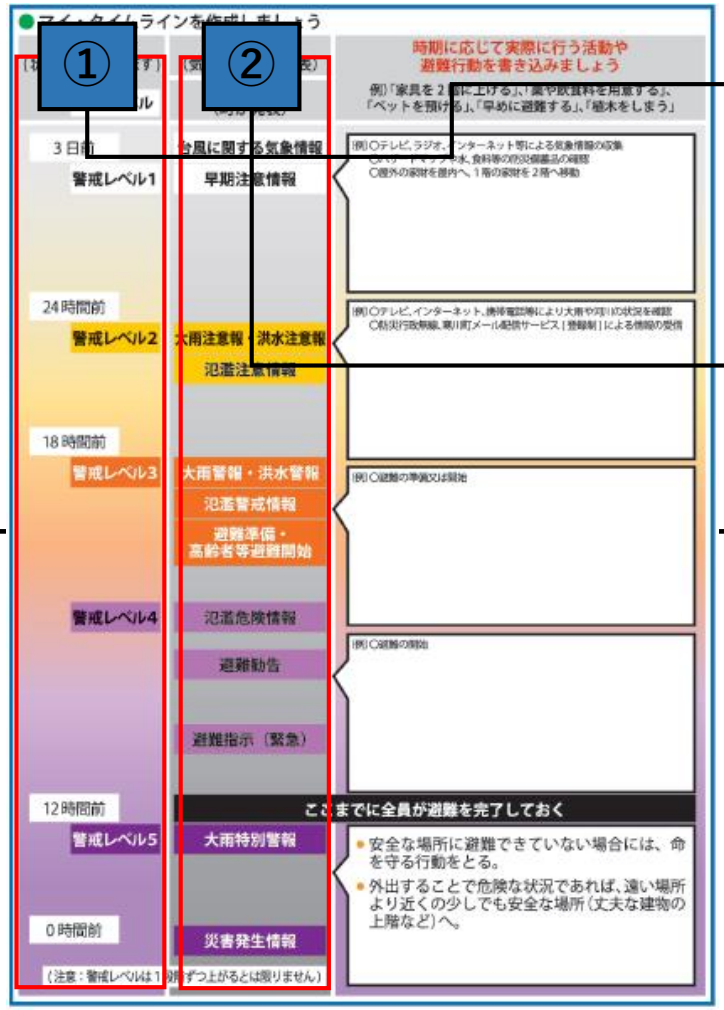
④薬など避難する際に持っていくべき必需品を記入ください。

⑤子供や高齢者の方、障がいをお持ちの方などが避難する際に必要なもの（支援など）を記入ください。

洪水ハザードマップ／マイ・タイムライン利活用の流れ（３／４）

STEP 4：警戒レベルや防災気象情報等を調べ、いつ・どういった行動を取らなければいけないのか確認しましょう。
STEP 5：災害発生前後の情報をどのように取得するのか、確認しましょう。

STEP 4



【STEP 4　警報等の内容を調査】

①警戒レベルと時間のめやす

警報等の内容を調べて、どんな行動を取るのかを確認しましょう。
警戒レベルは1～5まであり、警戒レベル1～2は気象庁が発令し、警戒レベル3～5は町が防災気象情報を含む様々な情報を踏まえて発令します。
※令和3年5月20日から避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されました。

②防災気象情報（気象庁・県が発表）/避難情報（町が発表）

雨や河川の状況、町からの避難に関する情報などの取得方法を確認しましょう。

STEP 5

【STEP 5　災害発生前後の情報収集】

雨や河川の状況、町からの避難に関する情報などの取得方法を確認しましょう。

町では、防災行政用無線のほか、登録制メールへの配信、HPやTwitterへの掲載等を行い、多様な情報伝達手段を確保しております。
また、令和3年6月14日より防災LINE公式アカウントが配信されます。
その中で、防災関連情報等（気象・河川の状況）が取得できますので、併せて、ご確認ください。

洪水ハザードマップ／マイ・タイムライン利活用の流れ（４／４）

STEP 6：災害時の行動を、「行動リスト」を活用し記入しましょう。

STEP 6

【STEP 6　災害時避難行動記入】

③STEP 4・5で調べた情報を基に、いつ、何をするのか、避難のタイミングを考えてマイタイムラインを作成しましょう。

さむかわマイ・タイムライン「行動」リストを活用し、時期に応じた活動や避難行動を記入しましょう。「行動」リストには避難する際の目安の行動などが書かれています。はさみなどで切り取り、マイ・タイムラインに貼り付けて活用しましょう。
※リストを使わず、表に直接書き込んでいただいてもかまいません。

記入時の注意点として、警戒レベル3が発令された場合、高齢者等は避難を開始し、その他以外の人も状況に応じて避難の準備をしたり、避難を開始しましょう。
また、レベル4が発令された場合は全員避難を開始しましょう。
完成しましたら、いつでも確認できるところに貼っておきましょう。

さむかわマイ・タイムライン　「行動」リスト

このリストは、マイ・タイムラインを作るときの基本的な行動を示したものです。
リストを切り取ってマイ・タイムラインシートに貼り付けるなど、ご活用ください。

防災気象情報等	時期に応じて実際に行う活動や避難行動	
台風や大雨の情報が報道される	気象情報を確認する（確認方法：＿＿＿＿＿＿）	家族の予定を確認する
	川の水位をインターネットで確認する	洪水ハザードマップを確認する
	＿＿＿＿＿＿に連絡する（連絡先：＿＿＿＿＿＿）	洪水ハザードマップを確認する
	＿＿＿＿＿＿に連絡する（連絡先：＿＿＿＿＿＿）	家の周りを確認する（物干竿・植木鉢・雨戸や窓ガラスなど）
	＿＿＿＿＿＿に連絡する（連絡先：＿＿＿＿＿＿）	家の周りを確認する（側溝や雨どいに詰まりがないか）
	＿＿＿＿＿＿に連絡する（連絡先：＿＿＿＿＿＿）	危険な場所には近づかない（河川・畑や田んぼなど）
	＿＿＿＿＿＿に連絡する（連絡先：＿＿＿＿＿＿）	避難する場所を確認する（避難する場所：＿＿＿＿＿＿）
大雨警報・洪水警報	＿＿＿＿＿＿が避難の準備を始める（準備にかかる時間：＿＿分）	＿＿＿＿＿＿の必需品を確認する（必需品：＿＿＿＿＿＿）
高齢者等避難 旧：避難準備・高齢者等避難開始	＿＿＿＿＿＿が避難の準備を始める（準備にかかる時間：＿＿分）	＿＿＿＿＿＿の必需品を確認する（必需品：＿＿＿＿＿＿）
避難指示 旧：避難指示（緊急）・避難勧告	＿＿＿＿＿＿が避難を始める（準備にかかる時間：＿＿分）	避難の時の持ち物を確認する *感染症対策のマスクやティッシュ、休憩折などを忘れずに
	避難完了！	を確認する
緊急安全確保 旧：災害発生情報	をする	を確認する
	をする	を確認する
	をする	定期的に手洗い・うがいをする

※空欄には、リストに記載が無いもので、ご自身が必要なことなどを記入して下さい。
※災害対策基本法が改正され、避難情報の発令基準が見直されています。